

北アルプスブロック生活排水対策構想

1 地理的特徴

県の北西部、北アルプスのふもとに位置し、北部は全国有数の豪雪地帯です。大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村から成るこの地域は、かつて日本海の塩を運んだ『塩の道』（千国街道）として知られています。低地には信濃川水系高瀬川や姫川水系姫川が流れ、温泉や湖沼が点在するなど水資源が豊富です。

2 生活排水処理とバイオマス利活用の現状と課題

【現状】

北アルプス地域において発生した生活排水は、公共下水道3施設、特定環境保全公共下水道2施設、農業集落排水処理施設9施設、し尿処理施設2施設で処理されています。

下水道施設から発生した汚泥は、セメント原料化や炭化肥料に再利用され、農業集落排水やし尿は焼却・埋め立て処理されています。

【課題】

排水処理施設の老朽化が進んでおり、それに伴う管路及び機器修繕等による維持管理費の増加が見込まれているため、施設統合等による効率的な運営が必要です。

しかしながら平野部では、姫川や高瀬川が流れており、河川両岸に処理場が所在していることから、河川を横断するような施設統合は難しい状況です。

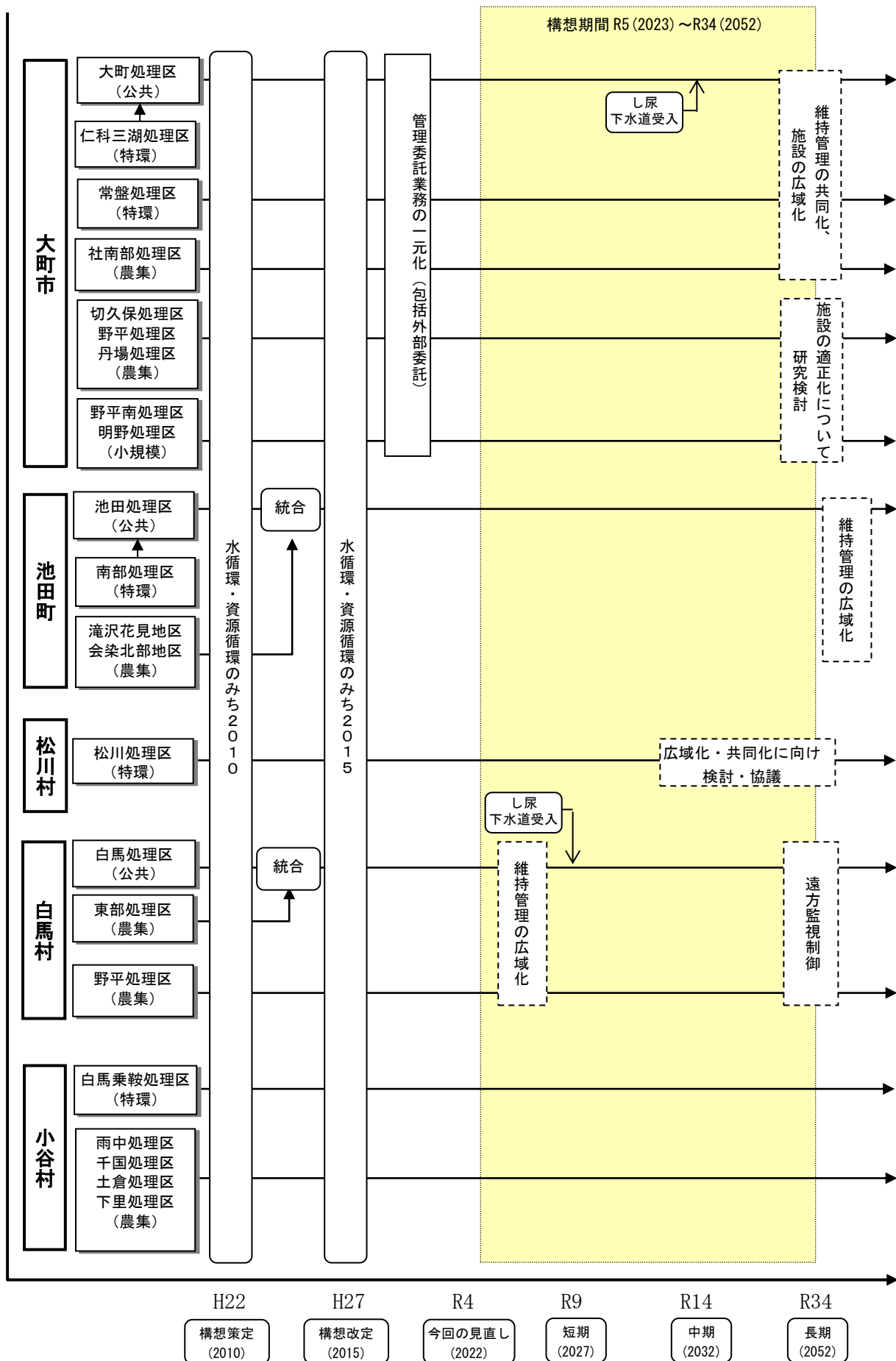
一方で、中山間地の処理場の統合にあたっては、近隣の処理区域までの距離・地理的要因が関係するため、経済的な手法等の検討が必要です。

また、人口減少により、処理水量が減少し、料金収入が減少しているため、業務統合等の経費節減対策が必要です。

3 今後の広域化・共同化計画

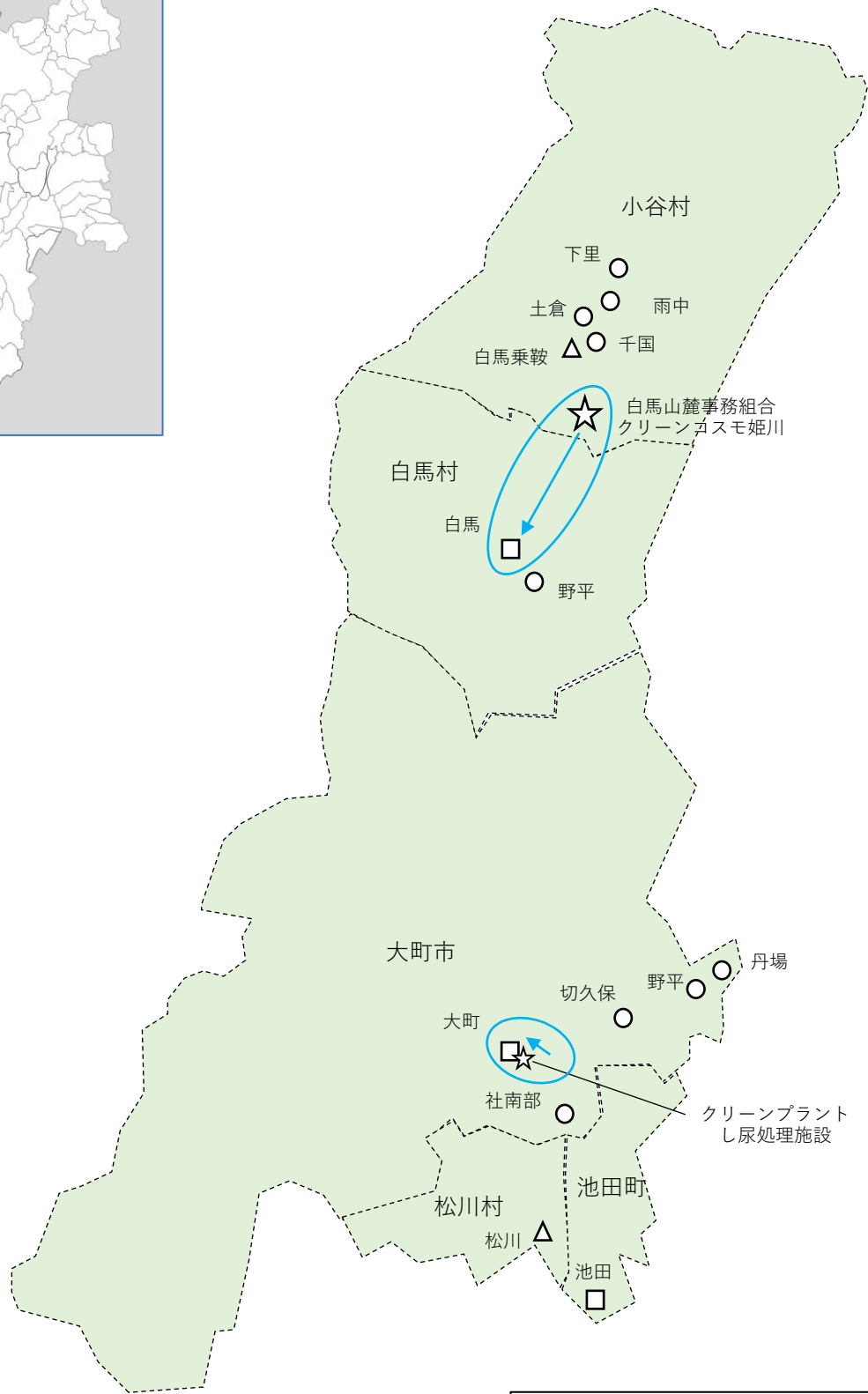
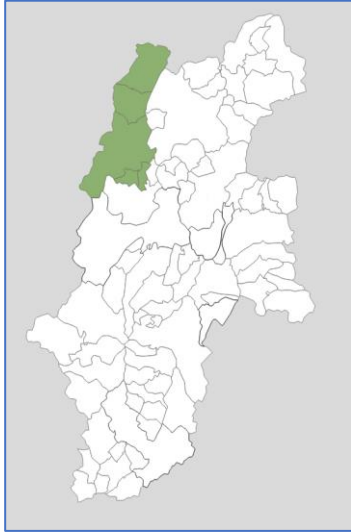
上記問題点を解決するため、今後、北アルプス地域においては、処理場の統廃合検討（ハード対策）を継続するとともに、維持管理の広域化・共同化（ソフト対策）に、より一層重点を置き、検討・協議を進める予定です。

バイオマスの利活用については、コンポスト化や広域的な汚泥処理や再資源化・資源循環の検討・協議を進める予定です。



注1：上記は処理場の統廃合のみを示したものであり、保守・管理や広域化・共同化に関する対策等は記載していません。
 注2：中・長期計画については構想段階のものも含めて記載しているため、確定したものではありません。

北アルプスブロック生活排水処理施設マップ



注：中・長期計画の内容は、構想段階のものも含めて記載しているため確定したものではありません。

- : 公共下水道施設
- △ : 特定環境保全公共下水道施設
- : 農業集落排水処理施設
- ☆ : 一部事務組合（し尿処理施設）
- 集約計画
 - : 現在（2020→2022）進捗中
 - : 短期、中期計画
 - : 長期的展望

北アルプスブロック生活排水処理施設数の推移と計画

	市町村	施設種類	今までの取組			今回構想				備考
			H22 (2010)	H27 (2015)	基準年 R2 (2020)	現状 R4 (2022)	短期 R9 (2027)	中期 R14 (2032)	長期 R34 (2052)	
1	大町市	公共	1	1	1	1	1	1	1	
		特環								
		農集排	4	4	4	4	4	4	4	
		その他								
2	池田町	公共	1	1	1	1	1	1	1	
		特環								
		農集排	2	0	0	0	0	0	0	
		その他								
3	松川村	公共								
		特環	1	1	1	1	1	1	1	
		農集排								
		その他								
4	白馬村	公共	1	1	1	1	1	1	1	
		特環								
		農集排	2	1	1	1	1	1	1	
		その他								
5	小谷村	公共								
		特環	1	1	1	1	1	1	1	
		農集排	4	4	4	4	4	4	4	
		その他								
地域内の全 施設数	全体	公共	3	3	3	3	3	3	3	
		特環	2	2	2	2	2	2	2	
		農集排	12	9	9	9	9	9	9	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	

注1：現状値についてはR4(2022).4.1時点に稼働している施設数を、管理者からの聞き取り等により算出したものを示しています。

注2：中・長期計画については構想段階のものも含めて記載しているため、確定値ではありません。

北アルプスブロックの快適生活率及び経営健全度

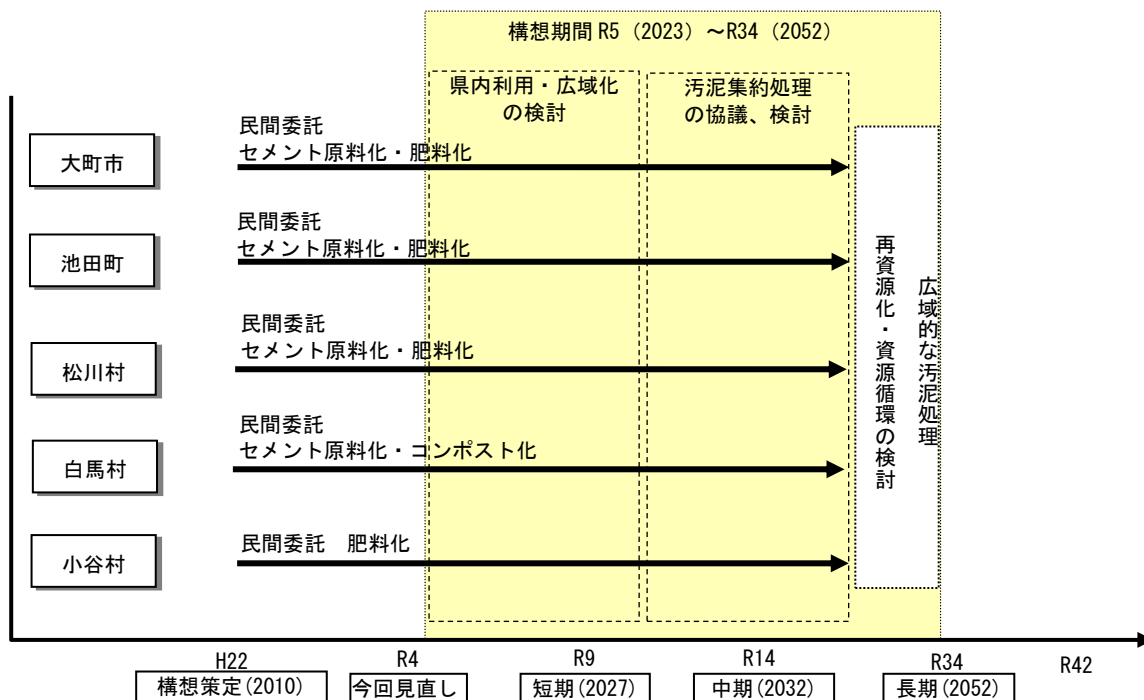
	市町村	快適生活率 (%)						備 考
		これまでの実績			今後の目標			
		H23 (2011)	H27 (2015)	R2 (2020)	短期計画 R9 (2027)	中期計画 R14 (2032)	長期計画 R34 (2052)	
1	大町市	63.3	69	76	81.6	85.3	97.8	
2	池田町	83.9	88	92	95.5	97.4	98.7	
3	松川村	86	90	92	94.4	95.5	95.7	
4	白馬村	78	82	63	66	69	75	
5	小谷村	57.7	71	79	87	91	94	
	平均	73.8	79.8	80.4	84.9	87.6	92.2	

注：快適生活率【(下水道等への接続人口+浄化槽設置人口) / 行政人口×100 (%)】により比較表を作成しています。

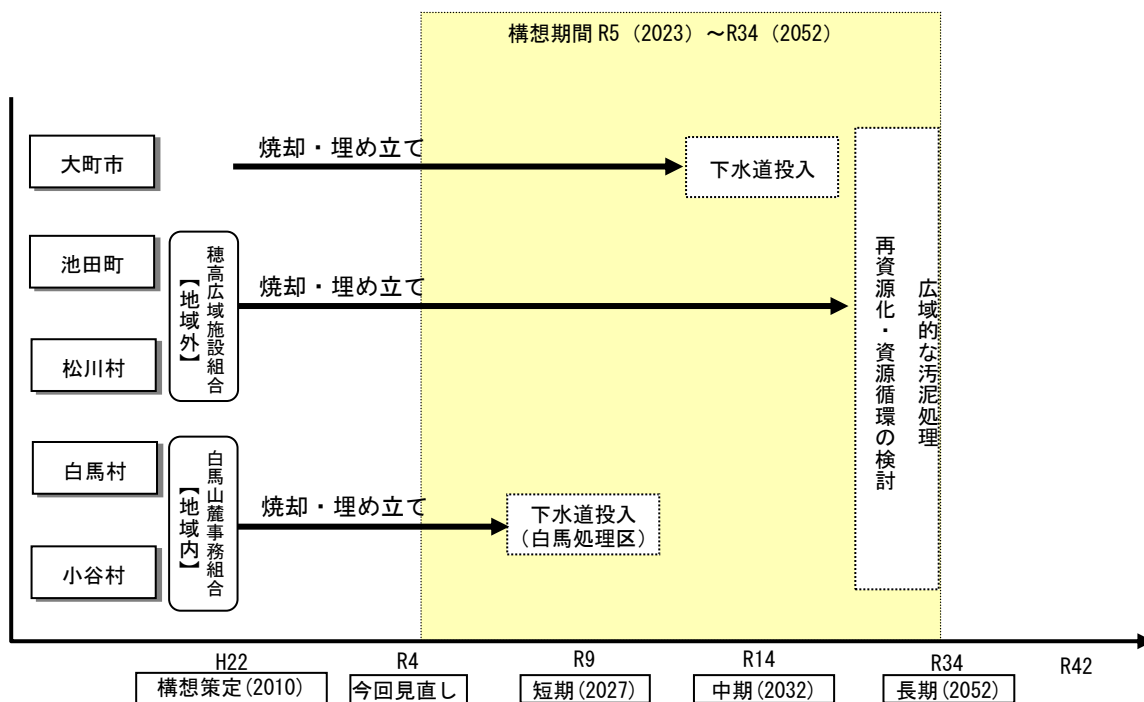
	市町村	経営健全度 (%) 【経営状況ポイント】						備 考
		これまでの実績			今後の目標			
		H23 (2011)	H27 (2015)	R2 (2020)	短期計画 R9 (2027)	中期計画 R14 (2032)	長期計画 R34 (2052)	
1	大町市	34	34	33	33	34	41	
2	池田町	36	35	32	32	36	53	
3	松川村	35	37	37	36	38	53	
4	白馬村	34	33	33	33	33	36	
5	小谷村	17	19	18	18	20	24	
	平均	31.2	31.6	30.6	30.4	32.2	41.4	

注：市町村構想におけるF値と異なり、経営状況ポイント【使用料収入 / (起債元利償還金+維持管理費)】により比較表を作成しています。

○下水道汚泥

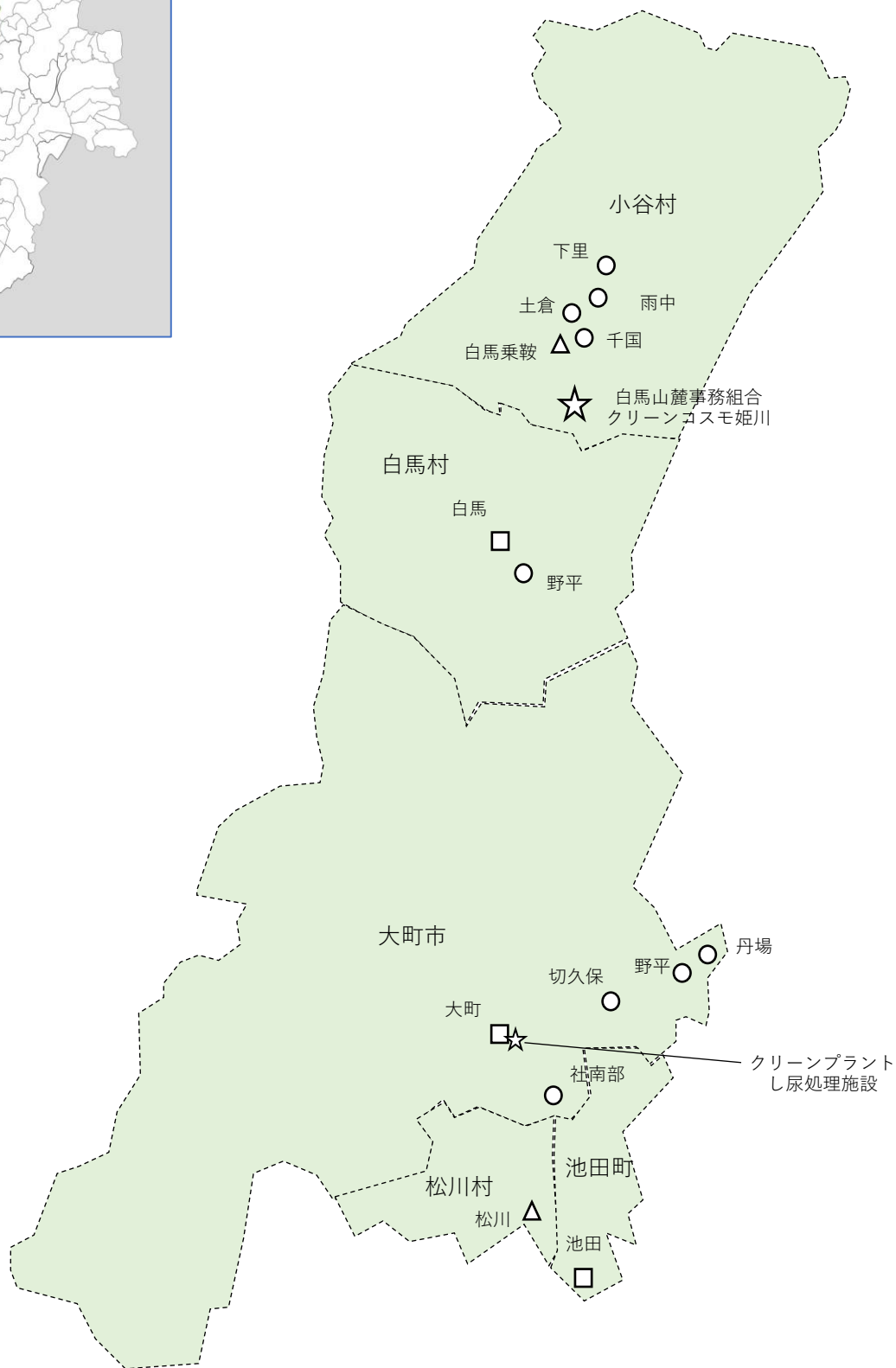
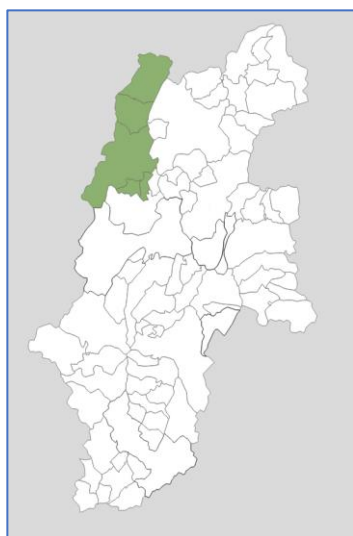


○し尿・浄化槽汚泥



注：中・長期計画については構想段階のものも含めて記載しているため、確定したものではありません。

北アルプスブロックバイオマス利活用マップ



注：中・長期計画の内容は、構想段階のものも含めて記載しているため確定したものではありません。

- ：公共下水道施設
- △：特定環境保全公共下水道施設
- ：農業集落排水処理施設
- ☆：一部事務組合（し尿処理施設）

北アルプスブロック 広域化・共同化実施メニュー

短期実施計画

		大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	備考
	白馬山麓事務組合				■	■	し尿・浄化槽汚泥
	穂高広域施設組合【ブロック外】		■	■			し尿・浄化槽汚泥
ハード連携	公共下水道の流域下水道への統合	/	—	—	/	/	
	農業集落排水の流域下水道への統合	/	/	/	/	/	
	公共下水道同士の統合	—	/	/	/	/	
	農業集落排水同士の統合	—	/	/	/	—	
	農業集落排水の公共下水道への統合	—	◎	/	—	—	
	農集排汚泥・浄化槽汚泥の下水道受入れ	—	—	—	○	○	
	し尿の下水道受入れ	—	—	—	○	○	
	汚泥処理の広域化	—	—	—	○	○	
ソフト連携	維持管理業務の広域化・共同化	○	—	○	—	○	
	水質検査・特定事業所排水指導の共同化	○	—	○	—	—	
	危機管理の共同化	◎	◎	◎	◎	◎	災害時支援ルール策定済み【大北ブロック】
	公民連携の推進	—	—	—	—	—	
	D Xの推進	—	—	—	—	—	
	人材育成・技術研修等の共同化	○	○	○	○	○	

中・長期実施計画（将来構想を含む。）

		大町市	池田町	松川村	白馬村	小谷村	備考
	白馬山麓事務組合				■	■	し尿・浄化槽汚泥
	穂高広域施設組合【ブロック外】		■	■			し尿・浄化槽汚泥
ハード連携	公共下水道の流域下水道への統合	/	○	—	/	/	犀川安曇野流域下水道
	農業集落排水の流域下水道への統合	/	/	/	/	/	
	公共下水道同士の統合	—	/	/	/	/	
	農業集落排水同士の統合	—	/	/	/	—	
	農業集落排水の公共下水道への統合	—	◎	/	—	—	
	農集排汚泥・浄化槽汚泥の下水道受入れ	○	○	—	◎	◎	
	し尿の下水道受入れ	○	○	—	◎	◎	
	汚泥処理の広域化	○	○	○	○	○	
ソフト連携	維持管理業務の広域化・共同化	○	○	○	○	○	
	水質検査・特定事業所排水指導の共同化	○	—	○	—	—	
	危機管理の共同化	◎	◎	◎	◎	◎	
	公民連携の推進	—	—	—	—	—	
	D Xの推進	—	—	—	○	—	
	人材育成・技術研修等の共同化	○	○	○	○	○	

凡例	
■	一部事務組合又は流域下水道の事業範囲
◎	実施済み
○	実施予定あり(一部完了で拡大予定を含む。)
—	実施予定なし
/	該当なし